

平成 26 年度第 1 回仁淀川清流保全推進協議会 議事要旨

日 時 : 平成 26 年 7 月 9 日 (水) 14 : 00 ~ 16 : 00

場 所 : いの町 かんぼの宿伊野 1 階 会議室

■ 寄付贈呈式

サニーマート株式会社の仁淀川流域の 3 店舗、サニーマート伊野店、サニーアクシスいの店、サニーマート高岡店より、「マイバッグ推進」の活動により生まれた地域応援の品(水切り袋 380 パック)を仁淀川の清流保全活動に役立てて欲しいとの寄付の申し出が当協議会にあり、寄付に関する協議が整ったため、寄付贈呈式を行った。

■ 平成 26 年度第 1 回仁淀川清流保全推進協議会

○ 事務局より委員の紹介

- ・出席 8 名、代理出席 1 名、欠席 3 名
- ・交代

岡崎 誠也 委員 → 小田 保行 委員 (仁淀川流域交流会議会長)

麻岡 博 委員 → 細川 治雄 委員 (仁淀川漁業協同組合代表理事組合長)

杉本 明 委員 → 高橋 隆 委員 (高知県林業振興・環境部副部長)

○ 議題

1. 仁淀川清流保全推進協議会副会長の選任について

前副会長:麻岡委員(仁淀川漁業協同組合 前代表理事組合長)がご退任され、空席に。

新副会長:推薦を受け、井上 光夫 委員が就任。

2. 平成 25 年度事業報告及び収支決算報告について

事務局より、資料に基づき、平成 25 年度事業報告及び収支決算を報告。中澤監事より監査報告があり、特に異議がなく、承認された。

3. 平成 26 年度事業計画及び収支予算案について

事務局より、資料に基づき、平成 26 年度事業計画及び収支予算について説明。

併せて、本年度のシンポジウムの開催について、11 月での開催を目指し、調整していたが、会場等の都合により、11 月の開催が難しくなったため、2 月で再調整することを口頭で説明。

【仁淀川一斉清掃について】

- ・ 仁淀川町は池川地区の北浦ふれあい公園で例年行ってきたが、旧吾川村や

旧仁淀村の方にはまだまだ周知不足のため、本年度については、中津溪谷を含めた清掃活動を計画している。(井上委員)

- ・ 時間が早く、人が集まりにくいのではないか。(山崎委員)
- ・ 清掃の開始時間は、各部会によって地元の方たちが一番やりやすい時間に決めていただいている。(石川会長)
- ・ 仁淀川町では、当初、やはり8時は集まりにくいのではないかという意見があり、9時からにしていたが、参加してくれる土木の会社などは会社の開始時間が8時からで、清掃の開始まで待ってもらっていたという経緯があり、清掃の開始を8時からとしている。(井上委員)
- ・ 会場によっては草刈りが必要になり、土木等にお願いに行くなど、非常に手間がかかりながら何とか開催している。担当の方から草刈りの費用を協議会で持っていただけたら、シルバー人材センターに頼むなどし、会場を設定しやすくなるという意見があった。(石川会長)
- ・ 委員から意見があればいただき、事務局で調整させていただく。(事務局)
- ・ 意見なしのため、事務局で調整。
- ・ 清掃の参加者の問題については、私たち自身に責任があると思っている。それぞれが誘い合って参加をする、私たち漁協でもそれぞれの地域の役員に声かけをする努力はしているが、皆で誘い合って参加を呼びかけるべきだ。また、見える所へはゴミを捨てないが、遠く見えない所へ行ったらゴミを捨てるという少し配慮が足りない方がいる。そういう方は捨ててはいけないということは知っているので、一度清掃に参加してもらうことで次は捨てなくなるのではないか。様々なことをしながら、一步一步川はゴミを捨てるところではないということがだんだん広がっている。そのようにこの協議会の取組は一步一步進んでいると認識している。(細川委員)
- ・ 参加人数だけで評価できるものではないが、一定の評価にはつながるので、声を掛け合うなどロコミにも頼りつつ、PRの仕方を考えていきたい。(高橋委員)

【仁淀川シンポジウムについて】

- ・ シンポジウムに参加してくれる方は毎年のように参加してくれるが、近くでやっても参加してくれない方もいるのではないかということで、今年からは地元で活動されている団体に参加してもらい、原点に立ち返り、本当

に仁淀川に想いのある方たちに集ってもらい、シンポジウムをやろうと
いうことで計画を進めている。(井上委員)

- ・ 2月は会場が寒いのではという話もあるが、その辺はどうか。また、11月30日が難しいのであれば、会場の変更や秋の他の月での開催などの対応が考えられるがその辺も併せてお聞かせいただきたい。(中澤委員)
- ・ 越知町役場の方に2月でも十分開催できると回答いただいている。ただ、できたら暖かく人も集まりやすい秋での開催を考えており、他のイベントと重ならない時期ということで11月29日・30日辺りで調整していたが、会場の問題で開催できなくなった。また、11月より前については、越知町でコスモス祭りなどが開催されるため、開催が難しく、2月での再調整とさせていただいたが、前倒しの方が良い等の意見があればこの場でいただき、再度検討したい。(事務局)
- ・ 越知町で開催するため、できるだけ地元の方にも来ていただきたいと考えていたが、11月30日に重なっている会がPTA連合会で参加者がかなり重複するため、ずらした方が良いのではないかという話になった。また、会場が重なっているため11月30日の開催は難しい。(中内氏)
- ・ 事例発表者を越知中学校にお願いしてはどうかという話も出ている。素晴らしい取組をされているので、ぜひ発表していただきたいと思っているが、PTA連合会の関係で学校関係者が難しいということなので、ぜひ越知中学校が出られる日を学校とも相談しながら決めさせていただきたい。(石川会長)

- ・ シンポジウムは例年通り基調講演をメインにしてやった方がいいのでは。(山崎委員)
- ・ 講演会はいろいろな場所・団体が行っているので、仁淀川シンポジウムでは今年は少し変えてみようという話になった。内容もまだ詰まっていないが、第1部は活動団体に発表していただき、第2部でより発表者のテーマに沿った活動内容をみんなで考えてみようというワークショップを計画している。せっかく参加したのだから一言でも言って帰っていただく会に今年はしてみたい。(井上委員)
- ・ 内容について、いろいろな意見が出ており、まだ定まっていない。今いただいた意見も持ち帰り検討したい。(石川会長)

以上の質疑応答、意見交換の後、事業計画及び予算ともに承認される。

4. 第2次仁淀川清流保全計画の見直しについて

事務局より、別添資料（第2次仁淀川清流保全計画取組状況取りまとめ報告書（平成22年度～平成25年度））に基づき、第2次仁淀川清流保全計画の取組状況について説明。

【質疑応答・情報収集】

- ・ 川が身近でなくなっている。（山崎委員）
- ・ 子どもたちを川へ呼び戻すという取組は素晴らしい取組だと思う。川に親しみ、川の楽しさを覚える、危険なことも身を守るということも含めていろいろなことを体験することで、大人になった時に仁淀川に帰ってきてほしいという願いで親子ふれあいバスツアーなどいろいろな事業をしている。そういう意味で子どもたちを対象にした取組は非常に素晴らしいと思う。今後もそれぞれ続けてほしい。
また、越知町の協力で現在までに黒森山に6.5ha、6,500本の植樹をしている。今後もやはり継続していかなければならないという中で、漁協だけでなく森林組合を含む18団体、漁協等を入れて20団体で仁淀川流域山林保全育成の会を5月15日に立ち上げ、流域の皆で植樹に取り組もうという動きがある。今年の11月ごろから新しい組織によって流域の幅広い地域の植樹を始める予定にしている。（細川委員）
- ・ 資料の中で、間伐面積の数字が下がっているように見えるが、おそらくは制度的な関係で見かけ上、下がっているように見えるが、実際は施業計画に基づいて間伐が行われている。（高橋委員）

5. その他

その他、情報提供。

- ・ 伊野町製紙工業会から、いの町の排水処理設備を今年度更新予定。
高知県製紙工業会から、広葉樹の植林を3年間行っており、今年行くとその山は植え終える。適当な裸山をご提供いただければ、工業会の方で植えさせていただきますので、情報があればいただきたい。（近澤委員）
- ・ 仁淀川地域観光協議会の動きとして、平成26年度で県の補助金も終わりと報告を受けているが、関係する6町村で再度お願いしていく。県外からのお客様が増えつつあるので、ぜひこの機を絶やさずに、仁淀川へ来ていた

だく取組を引き続き取っていきたい。知事へは平成 27 年度の予算編成前にお願いしていく予定。(中澤委員)

- ・ 仁淀川のブランド化を図ることで、若い方の移住や持続可能なまちづくり、地域づくりに繋がるよう仁淀川流域交流会議も取り組んでいるので、今後ともよろしく願いしたい。(中内氏)